

研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 2 4	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
The association among smoking, heavy drinking, and chronic kidney disease. 喫煙、多量飲酒と慢性腎臓疾患の関連	
執筆者	
Anoop Shankar, Ronald Klein, and Barbara E.K.Klein	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
American Journal of Epidemiology 2006; 263-271	
キーワード	
喫煙、アルコール飲酒、腎臓疾患	
要 旨	
<p>(目的)</p> <p>慢性腎疾患の危険因子は糖尿病や高血圧、肥満といった危険因子は文献的に一致しているが喫煙や飲酒といった生活習慣に関する危険因子の研究はまだ少なく、結果も一致していない。喫煙、多量飲酒と慢性腎臓疾患の関連を検討する。</p>	
<p>(方法)</p> <p>Wisconsin 州の住民コホートを対象に喫煙、アルコール飲酒量と慢性腎臓疾患の関連を検討した。慢性腎疾患は糸球体濾過率 60ml/分/1.73m²未満と定義し、1) 4,898 人を対象として腎臓疾患 324 人をアウトカムとして検討した横断研究、2) 腎臓疾患を持たない 3,392 人を対象として腎臓疾患の発症 (114 人) を検討した 5 年間の縦断研究を行った。</p>	
<p>(結果)</p> <p>喫煙、多量飲酒 (1 日 4 杯以上) は他の重要な共変量と独立して慢性腎臓疾患と関連していた。多量飲酒者 (1 日 4 杯以上) の慢性腎疾患発症のオッズ比は 1.99(95%CI: 0.99-4.01)であった。喫煙および多量飲酒者の非喫煙および非飲酒者に対する慢性腎疾患発症のオッズ比は 4.93(95%CI: 2.45-9.94)であり、約 5 倍であった。</p>	
<p>(結論)</p> <p>喫煙、多量飲酒 (1 日 4 杯以上) は慢性腎臓疾患と関連していた。</p>	